

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公表番号】特表2008-510228(P2008-510228A)
 【公表日】平成20年4月3日(2008.4.3)
 【年通号数】公開・登録公報2008-013
 【出願番号】特願2007-525718(P2007-525718)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 1 7 0 H

G 0 6 F 17/30 3 4 0 Z

G 0 6 F 17/30 2 3 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成20年8月8日(2008.8.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

多段クエリ処理システムにおいてクエリを処理する方法であって、

1 つ以上のクエリ用語に応答してインデックスから第 1 のセットのドキュメント識別子を検索するステップと、

前記第 1 のセットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する 1 セットの圧縮ドキュメントのために第 1 のセットの関連性スコアを生成するステップと、

第 1 のセットのトークンを回復するために、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するステップであって、前記第 1 のセットの回復されたトークンが、前記第 1 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、ステップと、

前記第 1 のセットの回復された 1 セットのトークンから、追加のクエリ用語を自動的に生成するステップと、

前記追加のクエリ用語を使用して、新しいクエリを作成するステップと、

前記インデックスから第 2 のセットのドキュメント識別子を検索するために、かつ、前記追加のクエリ用語に少なくとも一部基づく第 2 のセットの関連性スコアを生成するために、前記新しいクエリを処理するステップとを含む方法。

【請求項 2】

第 2 のセットのトークンを回復するために、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するステップであって、前記第 2 のセットの回復されたトークンが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、ステップと、

前記第 2 のセットの回復されたトークンを使用して、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの 1 つ以上の部分を再構築するステップとをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 のセットの関連性スコアに少なくとも一部基づいて前記 1 セットの圧縮ドキュメントから選択されたドキュメントの順序付きリストと共に、前記再構築された部分をユーザに提示するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 のセットの関連性スコアが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の 1 つ以上の位置に基づく請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 のセットの関連性スコアが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 のセットの関連性スコアが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

クエリを処理するコンピュータ実施方法であって、

受信されたクエリの 1 つ以上のクエリ用語に応答して、第 1 のセットの情報を検索するステップと、

前記第 1 のセットの情報に基づいて、少なくとも 1 つの追加のクエリ用語を自動的に生成するステップと、

前記少なくとも 1 つの追加のクエリ用語を使用して、複数のクエリ用語を有する新しいクエリを作成するステップと、

インデックスから 1 セットのドキュメント識別子を検索するために、前記新しいクエリを処理するステップと、

前記 1 セットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する 1 セットの圧縮ドキュメントのために 1 セットの関連性スコアを生成するステップと、

1 セットのトークンを回復するために、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するステップであって、前記 1 セットの回復されたトークンが、前記 1 セットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内の前記複数のクエリ用語の 1 つ以上のクエリ用語の位置に関連付けられる、ステップと、

前記 1 セットのドキュメント識別子の少なくとも一部分に基づいて、ドキュメントのリストを生成するステップであって、前記リストが、前記 1 セットの回復されたトークンの少なくとも一部分に対応する情報を含む、ステップとを含む方法。

【請求項 8】

前記 1 セットの関連性スコアが、前記 1 セットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の 1 つ以上の位置に基づく請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 1 セットの関連性スコアが、前記 1 セットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 1 セットの関連性スコアが、前記 1 セットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

1 つ以上のクエリ用語に応答してインデックスから第 1 のセットのドキュメント識別子を検索する手段と、

前記第 1 のセットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する 1 セットの圧縮ドキュメントのために第 1 のセットの関連性スコアを生成する手段と、

第 1 のセットのトークンを回復するために、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元する手段であって、前記第 1 のセットの回復されたトークンが、前記第

1 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内の位置に関連付けられる、手段と、

前記第 1 のセットの回復された 1 セットのトークンから、追加のクエリ用語を自動的に生成する手段と、

前記追加のクエリ用語を使用して、新しいクエリを作成する手段と、

前記インデックスから第 2 のセットのドキュメント識別子を検索するために、かつ、前記追加のクエリ用語に少なくとも一部基づいて第 2 のセットの関連性スコアを生成するために、前記新しいクエリを処理する手段とを備えた多段クエリ処理システム。

【請求項 1 2】

第 2 のセットのトークンを回復するために、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元する手段であって、前記第 2 のセットの回復されたトークンが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内の位置に関連付けられる、手段と、

前記第 2 のセットの回復されたトークンを使用して、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの 1 つ以上の部分を再構築する手段とをさらに含む請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 3】

前記第 2 のセットの関連性スコアに少なくとも一部基づいて前記 1 セットの圧縮ドキュメントから選択されたドキュメントの順序付きリストと共に、前記再構築された部分をユーザに提示する手段とをさらに含む請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 4】

前記第 2 のセットの関連性スコアが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の 1 つ以上の位置に基づく請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 5】

前記第 2 のセットの関連性スコアが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記第 2 のセットの関連性スコアが、前記第 2 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

1 つ以上のプロセッサによって実行される 1 つ以上の格納されたプログラムを有する、コンピュータ読取可能記憶媒体であって、前記 1 つ以上のプログラムが、

1 つ以上のクエリ用語に回答してインデックスから第 1 のセットのドキュメント識別子を検索するためのコンピュータ実行可能命令と、

前記第 1 のセットのドキュメント識別子の少なくとも 1 サブセットに対応する 1 セットの圧縮ドキュメントのために第 1 のセットの関連性スコアを生成するためのコンピュータ実行可能命令と、

第 1 のセットのトークンを回復するために、前記 1 セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するためのコンピュータ実行可能命令であって、前記第 1 のセットの回復されたトークンが、前記第 1 のセットのドキュメント識別子に対応する前記 1 セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、命令と、

前記第 1 のセットの回復された 1 セットのトークンから、追加のクエリ用語を自動的に生成するためのコンピュータ実行可能命令と、

前記追加のクエリ用語を使用して、新しいクエリを作成するためのコンピュータ実行可能命令と、

前記インデックスから第 2 のセットのドキュメント識別子を検索するために、かつ、前記追加のクエリ用語に少なくとも一部基づいて第 2 のセットの関連性スコアを生成するために、前記新しいクエリを処理するためのコンピュータ実行可能命令と、

を含む、コンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 18】

第2のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するためのコンピュータ実行可能命令であって、前記第2のセットの回復されたトークンが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、命令と、

前記第2のセットの回復されたトークンを使用して、前記1セットの圧縮ドキュメントの1つ以上の部分を再構築するためのコンピュータ実行可能命令とをさらに含む請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 19】

前記第2のセットの関連性スコアに少なくとも一部基づいて前記1セットの圧縮ドキュメントから選択されたドキュメントの順序付きリストと共に、前記再構築された部分をユーザに提示するためのコンピュータ実行可能命令をさらに含む請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 20】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の1つ以上の位置に基づく請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 21】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 22】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。